

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和 6 年 5 月 7 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	竹山建設株式会社
所 在 地	〒894-0012 鹿児島県奄美市名瀬小俣町 2 9 番 2 5 号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 竹山 博昭
担 当 者 連 絡 先	電 話：0997-52-0320
	メール：t-nagata@takeyama.info
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.takeyama-kensetsu.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和 33 年に奄美大島で創業した総合建設会社です。 起重機船を所有しており、鹿児島県内(鹿児島群島、大島群島含む)の港湾土木工事の請負事業を実施しています。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	港湾工事における環境配慮型船舶の活用促進する	環境配慮型起重機船の建造・導入 (目標) 1 隻以上
□環境 ✓社会 ✓経済	女性が男性と同じように活躍できる雇用環境・職場環境を整備する。	女性従業員割合 (現在) 8% (目標) 11%
✓環境 ✓社会 □経済	ISO14001(環境 MS)に基づき、環境に配慮した事業活動を推進する	地域貢献活動(ボランティア活動や地域清掃等)に参加 (目標) 毎年度 4 回以上

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	差別やハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記しており、相談窓口を設置している。 また、研修においてもハラスメント防止のテーマも取り入れて実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	【予定】『くるみん』、『えるぼし』の取得					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	過度な労働を防止するため、労働時間の管理・勤務状況の整備を行っている。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	外国人技能実習生を受け入れ中				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	2013年 OHSAS(現在ISO45001)取得～現在も継続			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	全従業員へのストレスチェック実施 産業医と連携した相談体制に加え、外部にも相談窓口を設置している			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	女性や高齢者、障害を持つ方、外国人を積極的に受け入れ、活躍できる環境作りに配慮しながら多様な人材確保に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	国家資格、免許や技能講習、特別教育の受講まで幅広く取得支援を行っている				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	2021年に健康経営優良法人認定を取得。 社員の健康管理のため、内視鏡検査(胃、大腸)の費用全額援助や予防接種の費用補助を行っている			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	社内で発生する廃棄物の分別の徹底 弊社の焼却炉は3Rに優れた構造となっている											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	ハイブリット重機や環境配慮型発電機等の使用に取り組んでいる							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	ハイブリット重機や環境配慮型発電機等の使用に取り組んでいる							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	生物多様性保全に配慮するため、工事着手前に希少動植物の調査を行っている。 外来種駆除等のボランティアに参加している。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	2009年 ISO14001取得～現在も継続			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	自社ホームページで正しく開示していく												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	太陽光発電による再生可能なエネルギー事業の推進に取り組んでいる。(竹山産業開発(株))							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	2000年 ISO9001取得～現在も継続			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	2000年 ISO9001取得～現在も継続 社内にて品質証明員を定め品質確保および向上に向けて取り組んでいる									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	2009年 ISO14001取得～現在も継続						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	ISO14001を取得しており、そのなかで利害関係者を明確にし、組織が与えている「環境影響」に対して適切に対応している				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	みんなの港サポート、ふるさとの道サポートに参加してボランティア活動を継続している。 県内の離島を含む港湾・漁港の清掃活動を実施				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	地元の原材料を優先的に活用								8	9		11	12	13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	自社ホームページにてSDGsへの取り組みの公開								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	コンプライアンス(法令遵守)に関する規定を社内規則に定めている																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	ISO室による組織的な管理を実施																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	地元説明会の開催やリーフレット配布、現場掲示板にて工事の必要性や理解を得るための活動を実施																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	ISOにおいてマネジメントプロセスを確実に実施																16	
33	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	BCPの策定および定期的な見直し									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリー毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

(様式第 4 号)

令和 7 年 7 月 7 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 〒894-0012 鹿児島県奄美市
名瀬小俣町 2 9 番 2 5 号

名称： 竹山建設株式会社

代表者： 代表取締役 竹山 博昭

登録年月日： 令和 5 年 3 月 2 9 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	港湾工事における環境配慮型船舶の活用促進する	環境配慮型起重機船の 建造・導入 (目標) 1 隻以上	造船計画中
□環境 ✓社会 ✓経済	女性が男性と同じように活躍できる雇用環境・職場環境を整備する	女性従業員割合 (現在) 8% (目標) 11%	女性従業員割合 (現在) 9%
✓環境 ✓社会 □経済	ISO14001(環境 MS)に基づき、環境に配慮した事業活動を推進する	地域貢献活動(ボランティア活動や地域清掃等)に参加 (目標) 毎年度 4 回以上	(昨年度実績) 4 回